

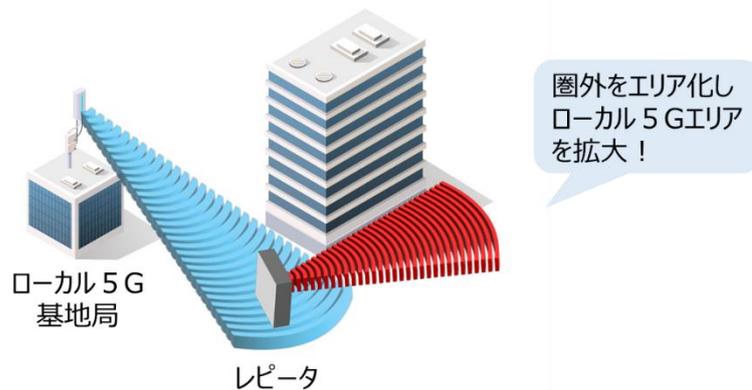
2022年6月20日
国立大学法人九州工業大学
DXアンテナ株式会社
株式会社スリーダブリュー
株式会社QTnet

九工大におけるローカル 5G 不感地帯対策に向けた実証実験の実施

国立大学法人九州工業大学（本部：北九州市、学長：三谷康範 以下、九工大）、DX アンテナ株式会社（本社：神戸市、代表取締役社長：長代輝彦 以下、DX アンテナ）、株式会社スリーダブリュー（本社：横浜市、代表取締役 植田 敦 以下、スリーダブリュー）および、株式会社 QTnet（本店：福岡市、代表取締役社長：岩崎和人 以下、QTnet）は、**ローカル 5G の不感地帯対策**として、九工大において「レピータ^{*1}を用いたローカル 5G^{*2}増幅中継」の実証実験を 2022 年 7 月 1 日から実施します。

ローカル 5G で利用可能な電波の一つであるミリ波は、帯域が広く高速通信が可能という利点がある一方、その電波特性（直進性、透過性等）上、建物内やその影などには電波が届きにくく、エリア確保が課題となっていますが、**レピータによる中継を行うことで少ない基地局でより広いエリアカバーができる**と期待されています。

今回の実証実験では、九工大戸畑キャンパスに QTnet が構築したローカル 5G 環境において、DX アンテナが開発中のミリ波用 5G レピータを用いた増幅中継を行い、電波が届かない場所に対する改善効果等を検証します。



レピータを設置することで、少ない基地局でコストを抑えてエリアカバーができ、ローカル 5G のエリア拡大に貢献できます

九工大、DX アンテナ、スリーダブリューおよび QTnet は、本実証実験を通じて、今後も産学連携した共同研究を進め、5G を活用した社会課題の解決や新たなサービスの創出を目指してまいります。

(参考) 九工大でのローカル 5G ユースケース・取組み一覧

URL : https://www.qtnet.co.jp/company/other/local5g/usecase_01/

*1 レピータ……電波が届かない場所に対して、電波を増幅し広範囲に再放射する装置。

*2 ローカル 5G……地域の企業や自治体等が、自らの建物や敷地内で柔軟に 5G（第 5 世代移動通信システム）ネットワークを構築し、利用可能とする無線システム。

以上

<報道機関の方からのお問合せ先>

九州工業大学 広報課 093-884-3008（用正[ヨウジョウ]、中村[ナカムラ]）

DX アンテナ株式会社 販売推進課 078-330-5998（広報担当：川幡[カハタ]

株式会社スリーダブリュー 技術営業部 045-482-7842（担当：細沼[ホシノ]

株式会社 QTnet プロモーション推進部 092-981-7773（広報担当：田埜[タノ]